



高知学園大学
高知学園短期大学

OPEN CAMPUS

6/25 SUN. 7/23 SUN. 8/20 SUN. 9/10 SUN.

●午前の部 9:30~

●午後の部 13:00~

詳しくはホームページまたは
右のQRコードからアクセス!



要予約



毎日がオープンキャンパス!

上記の日程以外にも随時オープンキャンパスをご案内しています。

TRY

未来をひらく。

[挑戦と成果]



■高知学園大学 健康科学部 管理栄養学科 健康科学部 臨床検査学科
■高知学園短期大学 幼児保育学科 歯科衛生学科 看護学科 専攻科地域看護学専攻



学校法人高知学園

高知学園大学
高知学園短期大学

〒780-0955 高知県高知市旭天神町292-26 学生支援課

TEL 088-840-1664 FAX 088-840-1231

<https://kochi-gu.ac.jp/>

高知学園大学 検索

<https://www.kochi-gc.ac.jp/>

高知学園短期大学 検索



学び、人、社会へ、
つながる



KOCHI GAKUEN
UNIVERSITY & COLLEGE

TRY



TRY

未来をひらく。

[挑戦と成果]



本学の大学案内を
手に取ってくださっている皆さん、ようこそ！

高知学園大学並びに高知学園短期大学は、「平和と友愛」の精神を教育の基本方針とし「広い教養と健全な社会性を身につけた専門的職業人」を育てる高知県の唯一の私立大学として、50年以上の歴史を刻んできました。

食・教育・医療を支える17,000人の卒業生たちは、その専門分野で立派に成長し活躍しています。特に高知県内での活躍が目覚しく、地域のトップランナーとしての貢献度は非常に大きいものがあります。また、他県においても有質な人財として日々精進し、その活躍の場は大きく広がっています。

高度な技術や専門性を求められる時代にあって、更に深く高い学びを得るために短期大学の生活科学学科及び医療衛生学科医療検査専攻を、高知学園大学健康科学部管理栄養学科並びに臨床検査学科として令和2年4月に開学いたしました。

少子高齢化が進む現代、健やかで心豊かな人生を過ごすために「食べること」「病気の予防、発見、治療」を支える人材の育成と生涯にわたる人間形成の基盤となる幼児期からの教育を担う保育者、また小中高の教員養成は本学の重要な責務です。我が国が進める未来社会は、仮想空間と現実空間を高度に融合させるシステムにより一人ひとりの人間が中心となる社会の実現に向けて、さらに急速な変化を遂げていくことでしょう。

本学は、どんな時代にあっても「人をいつくしみ、愛し、称える心」を決して忘れない温もりのある専門的職業人の育成に全教職員が一体となって、支え導いていきます。

何ごとも恐れず果敢にトライし、学ぶことの楽しさや充実感をぜひ本学で私たちと一緒に感じてください。

高知学園大学
高知学園短期大学
学長 小島 一久



高知学園大学
健康科学部
管理栄養学科
学科長 渡邊 慶子

高知学園大学
健康科学部
学部長 高岡 榮二

高知学園大学
健康科学部
臨床検査学科
学科長 富永 麻理

TRY

未来をひらく。

[挑戦と成果]



高知学園大学健康科学部は、生命の根幹である食と栄養を学ぶ管理栄養学科と、病気の診断と治療に必要な臨床検査を学ぶ臨床検査学科を設置しています。

管理栄養学科は、厚生労働省の管理栄養士養成施設に認定され、臨床検査学科は文部科学省に指定された臨床検査技師養成校であり、公的に認定されたカリキュラム、教員組織、施設設備を有しています。また、実践力のある管理栄養士、臨床検査技師を養成するために高知医療センターや高知県臨床検査技師会、地元企業などと包括連携協定を結び、臨床現場や地域と連携した教育を推進しています。

健康科学部では、現在の医療に求められる「健康科学」「生命倫理学」「チーム医療概論」などの科目を設置しているほか、高知県の目指す日本一の健康長寿県構想に貢献するために「地域包括ケアシステム論」「地域医療概論」などの二学科共通科目を配置し、専門性を発揮して日本の高齢化社会を支える人材養成を目指しています。

管理栄養学科では、「がんと栄養療法」「口腔ケアと栄養管理」「災害と生活」など、他大学にはない特徴的な科目を配置し、地域医療や在宅医療、また予測される災害医療など大きな社会的課題に対応できる管理栄養士養成を目標としています。

臨床検査学科では、医療情報から疾患を総合的に把握するための「病態解析学特論」、将来の超音波検査士を目指した「画像検査学特論」、高度な検査技術とリサーチマインドを学ぶ「卒業研究」などを配置し、次世代で活躍できる検査のプロフェッショナルを育てます。

科学の力を活用し、人々の健康な生活を支援する健康科学部であなたの未来を切り開きませんか。



高知学園短期大学
歯科衛生学科
学科長 中石 裕子

高知学園短期大学 副学長
兼幼児保育学科
学科長 山下 文一

高知学園短期大学
看護学科
学科長 田尻 信子

高知学園短期大学
専攻科地域看護学専攻
専攻長 矢野 智恵

TRY

未来をひらく。

[挑戦と成果]



情報化社会やグローバル化の進展により、知識や技能が急速に変化していく社会において、専門的職業人として豊かにたくましく人生を歩んでいくためには、大学で単に知識や技術を習得するだけでなく、社会に出てから必要とされる適応力やコミュニケーション能力、問題解決力など、幅広いスキルを身に付けておくことが必要です。

高知学園短期大学は、幼児保育学科、歯科衛生学科、看護学科、専攻科地域看護学専攻と人々の生活に欠くことのできない「教育」「医療」の関連する分野の学科・専攻科で構成されています。学びでは、それぞれの専門性を身に付けることはもちろんですが、その枠にとどまらず各分野の教員から学ぶ「健康教育」の授業が行われ、その専門性に付加価値を身に付けることのできる数少ない大学の一つです。

授業では、学生の自発的な発言や議論を促すなど、積極的な学生参加型の教育を展開しています。そこには、学生と教職員の間に関わり合いがあり、学生のみならず一人ひとりと真剣に向き合う学びの喜びが満ち溢れた学校です。

さらには、「社会にいちばん近い大学」として、企業や社会との連携プログラムの充実など、多様な学びの場を提供し、学生のみならずの成長を支援する教育環境を整えています。

卒業生の多くのみなさんは、本学で学んだ専門的知識・技術を用いて、高知県内の「教育」「医療」の分野において地域に根差した人材として活躍しています。

あなたの希望に満ちた将来の扉を、本学で開きませんか。

大学の沿革と建学の精神

高知学園大学、高知学園短期大学のあゆみ

明治

● 江陽学会を源流として明治に創設される

1899.4 源流となる江陽学会創立



江陽学舎

大正

1956.5 学校法人高知学園へ組織変更

高知学園短期大学誕生

1967.1 食物栄養科設置認可

1967.4 高知学園短期大学を開学

1968.2 衛生技術科設置認可

1969.2 幼児教育科設置認可

1970.1 保健科設置認可

昭和

1987.12 保健科に保健専攻、歯科衛生専攻設置

平成

1995.4 高知幼稚園を高知学園短期大学附属高知幼稚園と改称

2001.4 専攻科応用生命科学専攻設置

2005.4 食物栄養科を生活科学学科に、幼児教育科を幼児保育学科に科名変更

2006.4 医療衛生学科設置

2008.4 看護学科設置

2011.4 専攻科地域看護学専攻設置

2017.4

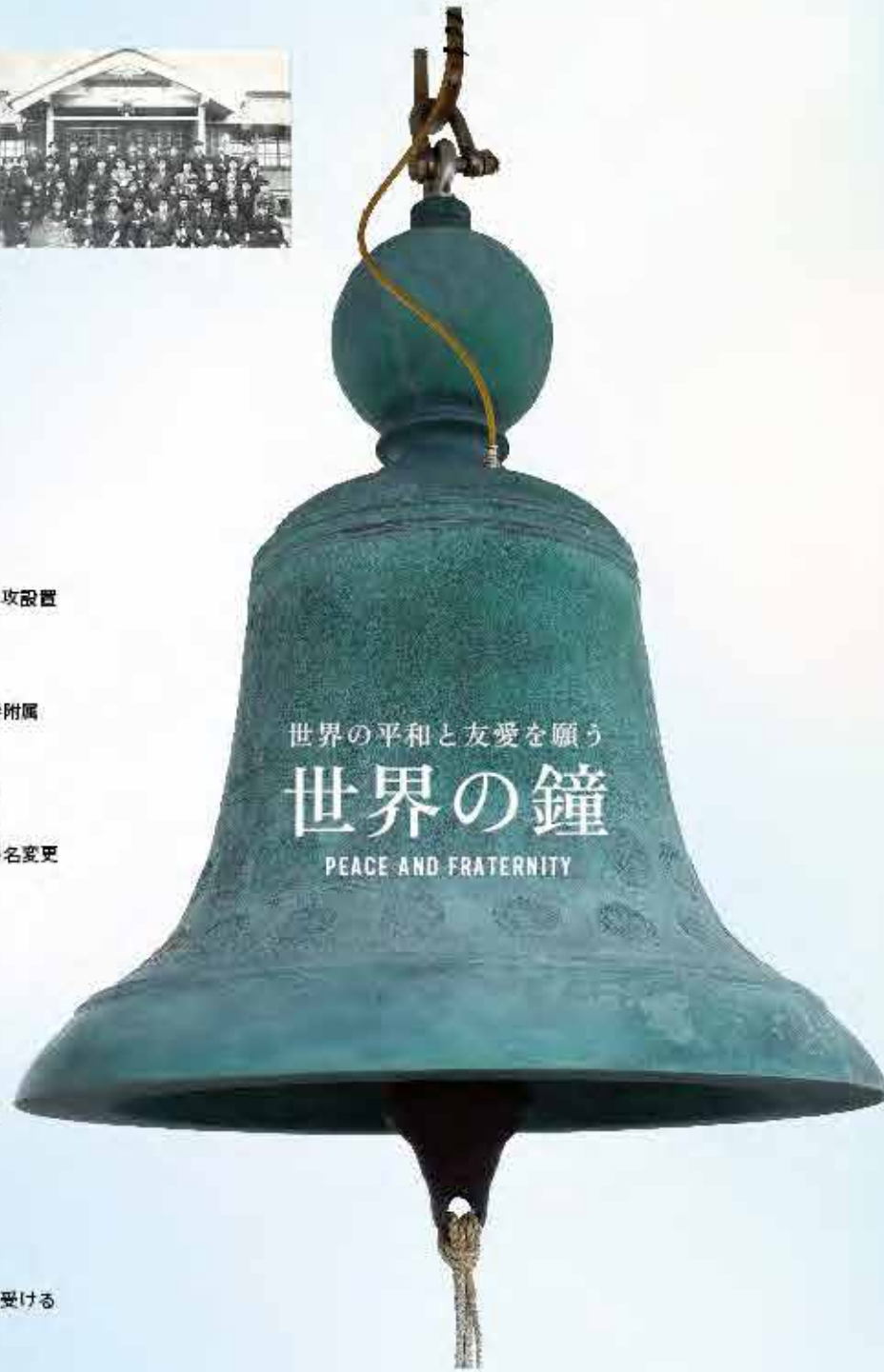
2018.6 生活科学学科、医療衛生学科医療検査専攻を高知学園大学健康科学部として申請

2019.1

令和

2020.3 3度目の認証評価「適格」認定を受ける

2020.4 高知学園大学を開学
健康科学部管理栄養学科、健康科学部臨床検査学科設置
高知学園短期大学
医療衛生学科歯科衛生専攻を
歯科衛生学科に科名変更



世界の平和と友愛を願う
世界の鐘
PEACE AND FRATERNITY



創立者
信清 権馬

初代学園長
川島 源司

明治、大正、昭和、平成そして令和へと続く歴史と伝統

学校法人高知学園は、明治32年(1899年)に創立された江陽学会がその源です。培われた教育と社会貢献の実績を礎として、昭和42年(1967年)に高知学園短期大学が設立されました。

高知学園短期大学は、栄養士養成を中心とした食物栄養科から始まり、衛生検査技師(後の臨床検査技師)を養成する衛生技術科、幼稚園教諭や保育士(後に保育士)を養成する幼児教育科、そして歯科衛生士や看護教諭等を養成する保健科を次々と設置するなど、「食」「教育」「医療」から構成される総合的な短期大学として発展してきました。

いずれも実学を主体とした教育を行い、各学科で固有の職業資格(国家資格)を取得して社会に貢献できる人材を送り出してきました。この卒業生たちが高知県内のさまざまな分野で地域社会の発展に全力を注いできました。また、現在も中心的役割を担って活躍しています。

高知学園短期大学としての歴史も50年余を超えました。今日に至るまでの社会のニーズや時代の変化はたいへん激しく、本学もその時代に適した短期大学としての役割を絶えず考えなければなりません。そこで令和2年(2020年)には、科学的根拠に基づく実践力をさらに高めた専門的職業人を輩出するため、高知学園大学が設立されました。これらの発展を遂げる過程で常に支えとなってきたのが建学の精神に掲げられている「世界の平和と友愛の精神」です。

建学の精神「世界の鐘」に刻まれた銘

昭和32年(1957年)3月、現在の場所(旭ヶ丘)に高知学園が移転した時に、教育の象徴として常に精神的な拠り所となり、永久に記憶の中に生きるものと考え「世界の平和と友愛」の願いを込めて、世界25ヵ国85校のハイスクールからその国の銅貨の寄贈を仰ぎ、それを鑄込んで出来たのが、この世界の鐘です。

平成17年(2005年)11月には、世界40ヵ国から贈られた銅貨をもって、初代の鐘の精神を受け継ぎ二代目の鐘が鑄造されました。「この鐘の音のとどろくところ、永遠の真理と希望にかがやき、世界



開学当時の
高知学園短期大学

の平和と友愛にみつ」と刻まれた鐘は、1日2回、澄んだ音色を響かせています。

この銘を建学の精神とし、高知学園短期大学・高知学園大学が誕生しました。そして、人類の福祉と文化の進展に寄与することを教育目的として掲げ、「平和と友愛の精神」を柱とし、自由と規律を尊び、真理を深め、創造性と情操を培い、広い教養と健全な社会性を身につけた専門的職業人を育成することが示され、現在も本学の教育基本方針として受け継がれています。

高知学園大学と高知学園短期大学との連携

高知学園短期大学の生活科学学科(2年制)と医療衛生学科医療検査専攻(3年制)の学科および専攻科を、より高度な専門性が求められる社会のニーズに対応させるため、高知学園大学健康科学部管理栄養学科と臨床検査学科として設置することとし、令和2年(2020年)4月、高知学園大学が誕生しました。

設立当初から核となっている「食」「教育」「医療」を基本とすることを忘れず、より高度な教育課程を目指して発展してきました。

現在構成されている高知学園大学健康科学部管理栄養学科、臨床検査学科と高知学園短期大学の幼児保育学科、歯科衛生学科、看護学科および専攻科地域看護学専攻とが密接に連携しながら「健康教育」をテーマに高度で幅広い専門性を身につけた人を養成していきます。



高知学園大学(8号館)



耐震補強された学舎



充実した学習環境



桜咲くキャンパス

TRY

未来をひらく。

[挑戦と成果]



高知学園大学 健康科学部

■ 管理栄養学科

■ 臨床検査学科

ワクワクする未来を描こう。

学びの特色

時代の要請に応える 専門的職業人を育成する

健康は、SDGs(持続可能な開発目標)の目標3「すべての人に健康と福祉を」に掲げられているように、私たちが生きていくうえで重要なテーマの1つです。まして新型コロナウイルス感染症による危機的状況を経験した私たちは、改めて健康の大切さを認識しました。

健康に関する取り組みは、世界中いたるところで様々に行われています。高知県では「日本一の健康長寿県構想」が策定され、「健やかで心豊かに安心して暮らし続けることのできる県」を目指して、医療・介護・福祉サービス体制の確立や子育て支援のための環境整備などが実施されています。

私たち高知学園大学は、このような時代の要請に応えるべく、「人間の福祉と文化の進展への寄与」を教育目的とし、食と栄養および臨床検査の分野で、地域社会で活躍できる専門的職業人を育成します。すなわち、食と栄養に関わる専門的知識と技術を習得して、保健、医療・福祉、教育、行政および企業等の多岐にわたる業務に貢献できる実践力を備えた管理栄養士(管理栄養学科)と、生命の仕組みと疾病の成り立ちおよび予防に関する専門的知識と技術を習得して、高度化・多様化する現代医療に貢献できる実践力を備えた臨床検査技師(臨床検査学科)です。

大学では、講義・演習・実験・学外実習を通して、健康科学に関する初学者でも着実に学んでいけるよう、基礎から専門まで段階的に高めていく教育課程を編成しています。そして3年次以降には学術論文などを講読して最新の研究を学び、考察を積み重ねながら、自分の意見を発信する演習を進めることで、科学的根拠に基づく実践力を育成していきます。

幅広い学びに支えられた 「人間性」を育成する

現代社会は、Volatility(変動性)、Uncertainty(不確実性)、Complexity(複雑性)、Ambiguity(曖昧性)の頭文字をとって「VUCAの時代」と呼ばれています。コロナ禍のように、私たちが予想できないような社会変化が次々と起こるようになったというものです。

このような時代に専門的職業人として生きていくためには、変化する状況を正しく把握し、柔軟に対応していく適応力が求められます。そのためには、特定の分野の専門性だけでなく、幅広い分野におけるものの考え方「教養」を学ぶことも必要です。

本学では、語学、情報、自然科学をはじめ、ユニークかつ充実した基礎・教養科目が設置されています。世界的な視野で人間

と文化を探究する「平和と友愛論」や「国際文化人間論」および地域の文化や歴史を探究する「土佐の食文化」や「土佐の歴史」で、グローバル(global=global+local:地域性を考慮しながら地球規模の視点で考え、行動すること)の素養を身につけます。「経営学基礎」、「マーケティング論」、「メディアと社会」では、組織社会の理解を深めるとともにマネジメント能力を身につけます。

また、キャリア形成科目では、キャリア形成基礎力(感じ・広げる力、前に踏み出す力、考え抜く力、チームで働く力)を身につけるとともにコミュニケーションのスキルを向上させていきます。

こうした教養・基礎科目と専門科目の学びを通して、専門職として役割を果たすために必要な職責を果たす強い責任感や正しい倫理観に基づく問題解決能力も育みます。

学科横断・大学一短期大学間の 連携教育で「協働する力」を育成する

高知県の「日本一の健康長寿県構想」を実現させるためには、医師や看護師だけでなく、管理栄養士や臨床検査技師等の医療スタッフも重要な役割を担います。健康的な生活を送るためには食事面の配慮が必要で、医師の診断・治療には臨床検査は欠かせないものだからです。さらに、医療スタッフ同士が互いの役割を理解・尊重しながら、リーダーシップやチームワークを発揮して、協働していくことも不可欠です。

本学では、健康について多様な視点から考察する「健康科学」、災害発生に伴う生活の変化や被災者のこころと身体の健康支援について学ぶ「災害と生活」、医療における他職種との連携のあり方を学ぶ「チーム医療概論」といった科目を学科横断的に開設し、ディスカッションなどを通じて、互いの専門性を理解し、協働する力を育みます。

また、同じキャンパスに高知学園短期大学があり、看護、歯科衛生、幼児保育学科の教員や学生と触れ合うことで、さらなる広い視点から自分たちの専門性の役割を認識することもできます。加えて、短期大学が地域貢献の一環として実践してきた、子どもの健康を支えるための「歯みがき指導」、高齢者を対象とした健康増進に関する「健康教育演習」や「イキイキ健康フェア」といった活動にも参加し、協働による地域貢献を実践して学ぶこともできます。

再学科および高知学園短期大学との協働で気づき学んだ事項を基盤に、さらに洗練して医療技術の高度化と科学的思考に基づく分析を行いながら、地域の特性や現状の理解に基づいた健康支援に貢献する人材を育成していきます。



高知学園大学の教育目的と教育基本方針

高知学園の象徴、「世界の鐘」の呼びかける平和と友愛の精神を柱とし、自由と規律を尊び、真理を深め、創造性と情操を培い、広い教養と健全な社会性を身につけた専門的職業人を育成します。

【教育目的】

高知学園大学(以下「本学」という。)は、建学の精神である「世界の平和と友愛」に基づき、教育基本法及び学校教育法の定めるところに則り、広く知識を授け深く専門の学芸を教授研究し、実践的な幅広い能力と知的、道徳的及び応用的能力を展開することのできる人材を養成し、もって人間の福祉と文化の進展に寄与することを目的とする。(高知学園大学学則第1条)

【教育基本方針】

高知学園の象徴、「世界の鐘」の呼びかける平和と友愛の精神を柱とし、自由と規律を尊び、真理を深め、創造性と情操を培い、広い教養と健全な社会性を身につけた専門的職業人を育成する。(高知学園大学の教育目的に関する規程第2条)

学科の教育目的

(高知学園大学の教育目的に関する規程第3条)

■健康科学部管理栄養学科

管理栄養学に関する講義・演習・実習を通して、食と栄養に関わる専門的知識と技術を習得するとともに、健康維持・増進の重要性を理解し、保健、医療・福祉、教育、行政及び企業等の多岐にわたる業務に貢献できる実践力を備えた管理栄養士を養成する。

■健康科学部臨床検査学科

医学及び臨床検査に関する講義・演習・実習を通して、生命の仕組みと疾病の成り立ち及び予防に関する専門的知識と技術を習得するとともに、健康維持・増進の重要性を理解し、高度化・多様化する現代医療に貢献できる実践力を備えた臨床検査技師を養成する。

TRY

未来をひらく。

[挑戦と成果]



Department of Nutrition

健康科学部

管理栄養学科

生命の根幹である基本的な「食」と「栄養」について学び、
健康・医療・福祉、教育の多岐にわたる業務における
実践力を備えた管理栄養士を養成しています。

人びとの健康維持・増進に貢献できる

栄養管理のスペシャリストを目指してTRYしましょう。

■厚生労働省による管理栄養士養成施設基準に準拠した教育
文部科学省・厚生労働省令で定められた指定基準に基づき、カリキュラム、
教員組織、設備等における施設基準に則って整備し、学習環境が確保されています。
チーム医療スタッフとしての役割を理解し、栄養管理における実践力の向上を目指しています。

■高知学園短期大学における栄養士養成の歴史を引き継ぐ
昭和42年(1967年)に高知学園短期大学食物栄養科が栄養士養成課程として指定され、
令和2年(2020年)に管理栄養士養成大学が設置されるまでの長きに渡り高知県に
多くの栄養士を輩出し、卒後に管理栄養士の資格を取得して地域で中心的な役割を担っています。
その卒業生は本学の臨地実習の指導者としてご支援いただいています。

■医療現場と連携した管理栄養士養成
高知医療センターと本学との包括的連携を結び、医師、看護師、管理栄養士による講義や
臨地実習の指導で、専門性の高い管理栄養士を育成しています。

■教諭免許取得の学生を輩出
栄養教諭一種免許状、中・高等学校教諭一種免許状(家庭)が選択により履修でき、
将来は管理栄養士の資格を持って、教育現場で働くことも可能です。

Qualification

取得可能な免許・資格

- 学士(栄養学)
- 栄養士免許証
- 管理栄養士国家試験[受験資格]
- 栄養教諭一種免許状
- 中学校教諭一種免許状(家庭)
- 高等学校教諭一種免許状(家庭)





センパイの声
SEMPAI MESSAGE



高知学園短期大学
食物栄養科卒業
Body care space Release 主宰
管理栄養士

浅野 知彰

私は4年制の大学を卒業後、栄養について学ぶために高知学園短期大学食物栄養科に入学しました。

卒業後は東京の医療機関に就職。3年の実務経験を積んだ後に管理栄養士の資格を取得し、その後帰高。現在はスポーツトレーナーとして、運動・トレーニングと栄養の知識をフル活用して、クライアントの体に関する問題を解決する事を仕事にしています。

運動・トレーニングと栄養、この2つの分野は切っても切り離せません。一般の方でもアスリートでも、運動をしても結果が出ない人には栄養に問題が、食事を制限しても痩せない人には運動に問題があるケースも少なくは無いので、運動と食事、この2つの視点から物事を観察できるのは強みになっています。

国家資格の取得はゴールではなく、スタートラインに立つ権利だと思います。大切なはその資格を使ってどのゴールを目指すのか?であると考えます。

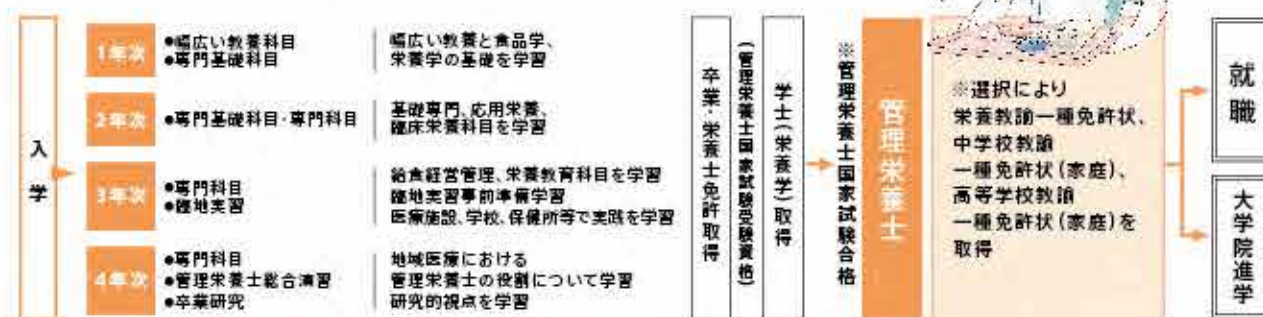
今後は高知県から全国で通用する選手を一人でも多く輩出する事を目標とし、アスリートのサポートを続けていきます。



CAREER DESIGN

管理栄養学科のキャリアデザイン

管理栄養士だけでなく選択により
教員免許も取得できます



卒業と同時に栄養士免許取得、管理栄養士国家試験の受験資格を取得

※選択により栄養教諭一種免許状、中学校教諭一種免許状(家庭)、高等学校教諭一種免許状(家庭)を取得



健康・医療・福祉に貢献できる
栄養管理のプロフェッショナルを養成。

特徴的なカリキュラム
CURRICULUM



Department of
Nutrition

■ 応用栄養学

近年、健康維持や増進、また疾病予防などに多くの関心が寄せられていますが、一方で高血圧や高脂血症など栄養や食生活との関連が深い生活習慣病が増加しています。健康は毎日の食習慣から作られ、その健康と食の関係を保つために欠かせないのが、栄養学の知識です。

応用栄養学では、成長や発達、加齢(老化)について理解し、それに伴う身体的、精神的変化と栄養ケアのあり方について学習します。また、乳児期から高齢期におけるライフステージごとに身体の機能や栄養とのかかわり、さらに、健康に影響するリスク管理などについて理解を深めます。

■ 基礎栄養学実験

栄養素の機能や役割、生体内での消化・吸収および体内動態、生体に及ぼす影響などについて実験により理解を深めます。

■ 食品学実験

食品に含まれる成分の性質、食品成分の変化について理解し、食に関わる専門的知識を日常生活で摂取している食品を例にとり、健康維持・増進を支える成分の化学的性質や調理・時間による成分変化について学習します。

■ 随地実習

病院、学校、事業所、保健所等で実習を行います。卒業後どのような施設で管理栄養士・栄養士として働きたいのか進路を考えて、学外施設での実習がより効果的となるよう学習を深めます。

実習施設特有の課題発見、問題解決への取り組みと実践体験を通して、学内で修得した知識・技術の統合を回り、実践につなげていきます。

■ 給食経営管理実習Ⅱ

学内の大量調理施設を使用して、栄養計画、食事計画、献立作成、食材料管理、作業管理、衛生管理、給食の提供と、評価について給食サービス、給食マネジメントについて学習します。

■ 臨床栄養学実習Ⅱ

疾病の臨床症状、治療法などを理解した上で、疾病の改善に不可欠な栄養食事療法、傷病者の栄養教育について実習により学びます。

具体的には各種疾病時の食事について食品選択・調理上の注意点などに配慮した食事献立を各個人で作成し、各グループの代表献立を実際に調理実習します。

更に作成した献立や栄養食事指導媒体を用いて、学生が管理栄養士役、患者役となって栄養食事指導のロールプレイングを行い臨床現場での管理栄養士の業務を学習します。

■ がんと栄養療法

がんは日本人の死因第一位であり、がん診療におけるチーム医療の重要性が高まっています。

それに伴い、がん患者における管理栄養士の役割も大きいことから、がん患者の栄養管理における重要性とその手法について学習します。

■ 口腔ケアと栄養管理

加齢や疾患の影響などにより、う蝕や歯周病、口腔内における乾燥、汚れなど摂食・嚥下機能に障害を来します。

本授業では、口腔の仕組みについて学び、全身状態と口腔の関連について理解し、更に口腔ケアと摂食・嚥下機能評価による食形態と食支援における栄養管理について学習します。

■ 病棟栄養管理学

管理栄養士の病棟担当・配置における役割、ベッドサイド訪問における情報収集や面接法、検査データ・画像の分析法、症例検討による栄養管理プロセスなどを学習します。

チーム医療に必要な医療用語を理解し、多職種とのコミュニケーションの取り方を習得し、病棟ラウンドやカンファレンスでのEBNに基づくプレゼンテーション力の高め方、指導記録の取り方などについて学習します。

■ 栄養教育論実習

栄養教育論で修得した理論・モデルを使い、集団を対象とした栄養教育プログラムの計画立案、実施、評価・改善までの一連のながれを小グループで実施することで、食行動を変容し、QOL向上につなげるスキルの修得をします。

■ 管理栄養士総合演習

4年間で学習した社会・環境と健康、各種疾患の成因・病態・診断・治療、食品の生産・

加工、調理の過程や人体への栄養面・安全面への影響、栄養教育、公衆栄養、応用・臨床栄養、給食経営管理など各分野の重要事項について演習を行います。

■ 教職実践演習(中・高家庭科)

演習形態を中心として、講義、事例研究、グループ討論、発表、ロールプレイング、フィールドワーク、模擬授業等を組み合わせ、家庭科教諭としての教育現場を想定した演習を行います。

■ 教職実践演習(栄養教諭)

教職課程科目の食・栄養に関わる専門的知識・技能及び健康の保持・増進に貢献する実践的な能力を身につけ、栄養教諭としての実践力を高める演習を行います。



MESSAGE 先生からのメッセージ



管理栄養学科 准教授
中野 政之

「食」は栄養素の補給としての役割を担うことに留まらず、「医食同源」という言葉があるように、「食」は「医療」や「薬」と同様の効果や役割を担うとも古来より考えられています。管理栄養学科では「食のスペシャリスト」としての管理栄養士を養成し、食を通じた地域住民の健康の向上に貢献できる人材になることができるように全教員が全力でサポートしたいと考えています。

学生として学業を最優先に考えることは当然ですが、大学生としての4年間をより有意義なものにするためには、ボランティア活動やアルバイト、または友人との交流など大学生という期間でしか経験できないことに自主的にチャレンジすることも大切なことです。これらの活動を通して学業では得ることができない貴重な体験をすることができ、もしかしたら自身の将来への指針につながる可能性があります。皆さんには、何事にも積極的に挑戦してほしいです。そして、大学生としての4年間で皆さんの将来の目標や目指す人物像を明確に描くことができるように皆さんを応援したいと思います。



管理栄養学科 講師
沼田 聡

管理栄養士という名称を聞いて、どのようなイメージを持たれましたか。「栄養や食材について詳しい人」「料理を作るのが上手そう」など、いろいろと想像されたかと思います。

人が食事を摂る理由のひとつとしては、栄養素などの摂取があります。栄養素の過不足によって成長障害や病気の発症を引き起こす原因となってしまうこともあります。人が健康的な生活を過ごしていくためにも、食事は非常に大事です。

管理栄養士になるためには、栄養学を中心として、食品学や食品衛生学、生化学、調理学など食に関する専門的知識と技術を学ぶ必要があります。そして、管理栄養士は専門的知識と技術を用いて栄養バランスの取れた献立の作成や、傷病者に対する治療食の作成などの栄養管理、生活習慣病予防や病後ケアにかかった方への栄養指導などの業務を行っていきます。

管理栄養士として活躍できる職場としては、医療機関、福祉施設、行政機関、学校、給食委託会社、一般企業などがあります。

本学では、幅広い分野で活躍できる管理栄養士の育成に取り組んでいます。食と栄養について興味や関心がある方は、本学で管理栄養士を目指してみませんか。我々教員たちも全力で応援します。

TRY

未来をひらく。

[挑戦と成果]



Department of Medical Laboratory Science

健康科学部

臨床検査学科

病気の診断と治療に必要な臨床検査について学び、最新の医療現場で活躍できる実践力を身につけ、地域医療やチーム医療で活躍し高齢化社会を支える人材を目指して、TRYし続けます。

■文部科学大臣指定校による臨床検査技師養成教育

文部科学省で定められたカリキュラム、教員組織、施設、備品などが整備されています。

■歴史と伝統に基づく臨床検査技師養成教育

短期大学から55年にわたる臨床検査技師養成により、2500余名の卒業生を輩出。高知県を中心に全国で活躍し、高知学園ブランドの臨床検査技師は強い絆で結びついています。

■臨床現場と連携した臨床検査技師養成教育

高知県臨床検査技師会と包括連携協定を結び、人材育成と社会貢献を柱に、現場の臨床検査技師と共に手を携え、次世代の臨床検査技師を育てます。

■一人ひとりの学生に寄り添い進路を保証する臨床検査技師養成教育

学生の個性を見極め、興味を抱いた専門分野の資格取得を促し、進路保証に繋がります。

Qualifications

取得可能な免許・資格

[卒業時に取得できる資格]

- 学士(臨床検査学)
- 臨床検査技師国家試験受験資格

[在学中に取得できる資格]

- 健康食品管理士
- 遺伝子分析科学認定士
- 中級、上級バイオ技術者
- 医療情報技師





先輩の声
SEMPAI MESSAGE



高知学園短期大学
衛生技術科卒業
株式会社アイロムCS
中・西国統括部グループ長
前岡 智佐

私は2002年から治験コーディネーターとして治験に係わる業務をしています。

主な仕事内容は病院やクリニックといった医療機関へ訪問して、GCP(治験を実施する際に遵守すべき基準)を守って、適切に治験が行われるように各部署を調整(コーディネート)します。そのため、病院の患者様だけでなく、製薬会社や医師をはじめ、医療従事者などの幅広い職種の方と接することができ知識も広がります。

高知学園短期大学衛生技術科を卒業し、臨床検査技師として病院で10数年臨床検査業務した経験も活かしています。

また本学科で共に学び過ごした同級生とは30年数年たったいまでも良き相談相手、遊び仲間として交流があり、一生の友を得られました。

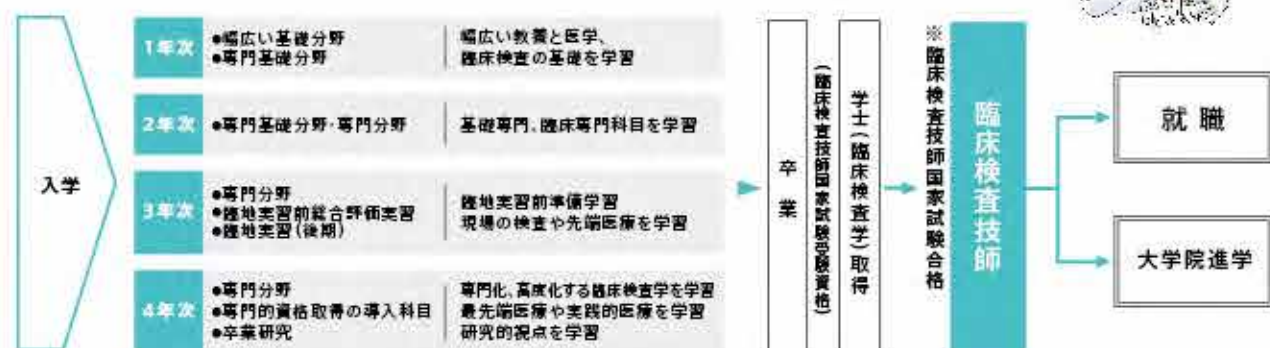
今、高知学園に入学して臨床検査技師になって本当によかったと思います。学生時代にご指導いただいた先生方に大変、感謝しております。



CAREER DESIGN

臨床検査技師の資格以外にも
より高度な資格にチャレンジできるよ

臨床検査学科のキャリアデザイン



4年間で高度な臨床検査学の専門性を習得、さらに学士と臨床検査技師国家試験受験資格を取得



最新の医療現場で活躍できる
実践能力を養成。

特徴的なカリキュラム
CURRICULUM



■ 遺伝子染色体検査学・
遺伝子染色体検査学実習

ゲノム医療など臨床現場で求められる遺伝子検査の知識、技術、解釈を学ぶ。

遺伝子検査に必要な基本的技術や日常検査に導入されている遺伝子検査の実際と結果の解釈について学習します。実習では、核酸の抽出・精製や様々な遺伝子解析技術を行い、遺伝子検査の基本的技術と各解析技術の特徴を実践的に学びます。

さらに遺伝性疾患、多型解析、腫瘍関連遺伝子および感染症の診断に必要な分子遺伝学的な基礎知識や倫理的問題についても知識を深めます。遺伝子分析科学認定士の資格取得に重要な授業です。

■ 細胞検査学

がん検診のスクリーニングに重要な、実践的な細胞診断の基礎知識と技術を学ぶ。

細胞学的検査法(細胞診)は、がん検診のスクリーニングをはじめ、臨床検査技師が診断に関わる非常に重要な検査です。細胞診に必要な解剖学、組織学的構造を理解し、実践的な細胞診断の基礎知識と技術について習得します。

■ 画像検査学・画像検査学特論

将来の超音波検査士の資格取得を目指して、実践的な知識と技術を習得。

臨床検査技師に求められる超音波検査、磁気共鳴画像検査(MRI)、熱画像検査(サーモグラフィ)、眼底検査について学びます。関連する画像検査法についても学習し、疾患を分析できる能力を培います。

超音波検査、CT、MRI、心カテ、マンモグラフィなどの画像から疾患を分析し、生化学検査値、患者さんの状態も合わせて考える力を養成します。

■ 医療情報学・医療検査情報システム論

医療データの管理技術、情報処理技術、解析技術について学び、医療情報技師の資格取得を目指す。

膨大に発生する医療データは、臨床診断や医療経営に重要な情報を生み出しています。これらを解析して、エビデンスに基づく医療を行うことが求められています。

授業では、医療データの性質、データの管理技術、情報処理技術、データ解析技術について学び、問題に対して、科学的根拠に基づいて対処ができる方法を学びます。そして、各種疾患と検査の関係を考察し、説明できる力を養成します。

■ 病態解析学特論

医療情報を収集し、疾患を総合的に把握するために必要な病態解析能力を養う。

医療現場で臨床検査技師として活躍するためには病態解析能力が必要です。授業では、疾患を総合的に把握するための演習を行います。疾病の原因、検査結果、臨床病態、診断法、治療法、転帰、疫学的データ等の医療情報を収集してまとめ、発表することができる能力を養います。

また、現代社会が抱えている貧困と病気などの疾病構造や、医療の現状について考察できることを目指します。

■ 臨地実習

医療現場において実践的な技術と知識を習得し、チーム医療における臨床検査技師の役割を学ぶ。

臨床検査の実践力を身に付けるために、臨床現場における日常業務、患者接遇を通して臨床検査技師の果たす役割を理解します。さらに医療人としての自覚と倫理観を養い、人間性の向上を目指します。

現代医療の中でチーム医療における臨床検査技師の職責を理解し、医療現場に対応

できる基本的な技術と知識を習得し実践できる力を養成します。

■ 生殖医療概論

最新の生殖発生学の医学的知識を習得し、将来、胚培養士の資格取得を目指して、生殖補助医療についても学ぶ。

細胞工学を医療に適用する技術が進歩し、生殖医療や再生医療が実用化されています。「生殖」を中心とした解剖学・生理学・発生学の基礎から、最新の医学として生殖細胞や幹細胞、再生医学を学びます。また、不妊治療を中心とした生殖医療について、さらに、生殖医療における倫理的・社会的問題についても学びます。

■ 健康食品総論

健康食品についての正しい知識を習得し、健康食品管理士の資格取得を目指す。

近年、体内調節機能を意図した食品の研究が進み、健康保持および増進に寄与する健康食品が多く開発されています。国民の健康意識が高まる中、健康食品について正しい知識を持ち、食の安心を提供する相談員の養成が望まれています。

授業では、栄養学、食品学の基礎を理解し、摂取者の栄養状態を客観的に評価できる検査の基礎知識をもとに、健康食品の有用性および安全性について評価・説明できる力を養成します。



MESSAGE 先生からのメッセージ



臨床検査学科 教授
佐藤 進一郎

皆さん「輸血」とは何か知っていますか。交通事故や手術などで出血量が多い患者さんには、赤血球や血小板などを「輸血」で補充しなければ出血多量で死亡してしまいます。輸血の効果は劇的で、これまでに多くの人の命を救ってきました。しかし、輸血用血液は誰の血液でもいいわけではありません。ABOやRhD血液型を検査して同じ型のヒトの血液を輸血する必要があります。

また、輸血前には患者さんと輸血用血液の適合性を検査で確認しなければなりません。この輸血検査によって「安全で効果のある輸血」の責任を担っているのが、医療機関の輸血部門で働く臨床検査技師です。さらに経験を積んで、高度な知識や技術を持つ認定輸血検査技師という特別な資格を取得することもできます。輸血・移植検査学では輸血や移植について勉強します。



臨床検査学科 講師
中村 泰子

県立病院や高知医療センターで務めた経験を基に主に生理検査関係の授業を担当しています。特に画像検査学、画像検査学実習、画像検査学特論では超音波検査士の資格を活かして、学生には基礎から臨床に近い内容をわかりやすく教えるように努めています。臨床検査技師の業務は様々あり、それぞれの分野で本学の卒業生はプロフェッショナルに活躍していますが、超音波検査士も同様です。また臨床現場から超音波検査ができる臨床検査技師を求める声も多く、超音波検査士を目指す学生には学生時代の早い時期から夢実現のために力を尽くしたいと考えています。



Department of Medical
Laboratory Science

TRY

未来をひらく。

[挑戦と成果]



短期
大学

高知学園短期大学

■ 幼児保育学科

■ 歯科衛生学科

■ 看護学科

■ 専攻科地域看護学専攻

ドキドキする未来へ飛び出そう。

幼児保育学科

乳幼児教育・保育の専門的知識、技術を学び、幼稚園教諭(二種)、保育士を目指します。

Qualification

取得可能な免許・資格

- 短期大学士(幼児保育学)
- 幼稚園教諭二種免許状
- 保育士資格



Department of Early Childhood Education and Care



幼児保育学科が大切にしていること

幼稚園教諭免許と保育士の資格は、子どもたちにとって将来大切な教育を提供するために必要なものです。

幼児保育学科は、次のような特徴をもつ学科です。

- 実践・実習が豊富な満足度の高いカリキュラム
- 一人ひとりの学習や学校生活をサポート
- 半世紀以上の伝統をもつ信頼の就職支援

卒業生は、県内の幼稚園や保育園だけでなく、福祉施設、学童保育などでも活躍しています。

「最初に出会う先生」として、その第一歩を踏み出しましょう。

皆さんのTRY!待っています。



■幼児保育学科の教育目的

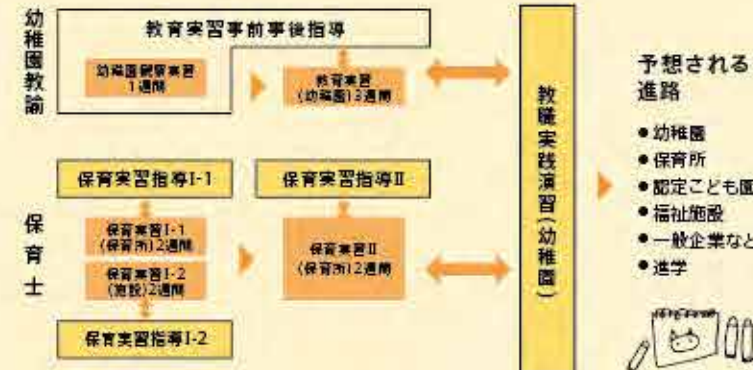
子どもたちの「生きる力の基礎」を育むために、豊かな人間性を身につけるとともに、情報を適切に収集し、選択・活用する能力、知識を有機的に結びつけ構造化する力、組織的・協同的に諸課題に取り組む力など、時代の変化や自らのキャリアステージに応じて求められる資質能力を生涯にわたって主体的に高めていくことのできる幼稚園教諭、保育士及び保育教諭を養成します。

CAREER DESIGN

幼児保育学科のキャリアデザイン

卒業と同時に幼稚園教諭二種免許状と保育士資格を取得。

より実践的で質の高い保育者の養成を目指した、本学独自のカリキュラムを編成しています。



予想される進路

- 幼稚園
- 保育所
- 認定こども園
- 福祉施設
- 一般企業など
- 進学



幼児保育学科では、専任教員を中心に、研究活動に基づかれた内容を授業で取り上げています。そのため、確かな根拠と最新の理論を提供する機会が実践されています。さらに、そこで得られた知識や技能を活用する実践力を養う、学外実習の機会を多く取り入れています。

また、本学と同じ敷地内に高知学園短期大学附属高知幼稚園があり、日常的に実践的な学習を行うことができます。これは実習の事前指導としての効果だけでなく、学習内容が真の理解に発展する絶好の機会となっています。こうした活動は、幼稚園と短期大学を擁する総合学園だからこそ実現できるのです。

MESSAGE 先生からのメッセージ



幼児保育学科 教授 岸 康人

人生で最初に会った先生を覚えていますか?一緒に楽しく絵を描いたり、歌を歌ったり、拙い声にも耳を傾けてくれる先生だったと思います。みなさんがこのような思い出を持つのは、小さな子ども達を安全に楽しませるための技術や経験を持った保育園・幼稚園の先生がいたからに他なりません。

このような経験は日々の研鑽により養われるものですが、一朝一夕では身につけません。短大で2年間勉強しても、まだまだ現場では不十分なことも多いはずですが、

本学では、教育・保育に関わる様々なことを学び、食や医療の専門分野の観点から知見を広げることで、科学的視点から問題を考えられる教育者・保育者を育成します。

安全管理、ICTの導入、新しい制度への対応、多様化の要請、小学校との接続、乳幼児保育・教育を取り巻く環境は常に変化しています。このような変化の中

でこそ、現象を観察し、分析をする科学的視点が必要となります。

新しい問題に取り組み、解決へと導くための基礎的な考える力を身につけることで、教育者・保育者としての礎を築いてほしいと私たち教職員は願っています。

本学での2年間の学修は、幼稚園教諭二種と保育士資格両方取得するカリキュラムとなっているため、授業は忙しくなりますが、同じ志を持った多くの仲間に出会えます。実習では、子どもの笑顔に助けられることもあるでしょう。みなさんの研鑽の場は、授業や実習だけでは留まりません。学内外での、読み聞かせや子どものためのイベントを通じ、自らの技術を磨いて下さい。

人生で最初に出会う先生としての責任を果たす人材を育て、卒業後数十年のキャリアを支えるため、私たち教職員も全力でサポートします。「平和の鐘」の音を聞きながら、一緒に2年間勉強しましょう。

特徴的なカリキュラム
CURRICULUM

■教育原理

教育の目的や意義、方法、内容などについての、基本的原則や理論的基礎を学ぶ。

教育原理の範囲は、教育の意味と我が国における教育の文化、教育の発展に関わってきた人物と理論、教育の歴史、日本や外国の教育の特徴、実践的な指導法や学習指導要領など、幅広いものがあります。さらに教育について多くの人々が考え、実践してきた教育の形を学ぶことにより、子どもをささえ、子どもの育ちを見守り、手助けをする保育者の役割が深く理解できるようになります。

■発達心理学I・II

発達理論の理解を深め、子どもと触れあうことで、保育実践力を養う。

保育の実践は、子どもを理解して初めて可能となります。発達心理学では、子どもの心の発達を理解し保育へ活用する視点と能力を養うため、常に最新の発達理論を学ぶとともに子どもと触れあひながら理解を深めていきます。

中でも、附属高知幼稚園の協力を得て幼児を対象とした研究を行うことは、自ら学習して得た知識と実際に得られた分析結果とを結びつけて理解を深めていく効果があります。

その結果、理論で用いられるデータを読み取る力が養われますので、就職後も最新の研究理論を活かした保育実践力の向上に役立っています。

■教育実習・保育実習(保育所・施設)

子どもを理解し、保育を構想し、省察する力を身につける。

乳幼児期の教育・保育は、子どものもつ様々な可能性に働きかけ、その人格の形成の基礎を培う重要な営みです。保育者が自分の思いを一方的に子どもたちに押し付けるだけの保育では、子ども一人ひとりの発達を著実に促すことはできません。

実習は、本学で身に付けた知識や技術をもとに、幼稚園や保育所、福祉施設等で、直接子どもと関わり共に生活をする中で、保育者としての喜びや意義、子どもについての理解を深めます。

ただ単に保育者や子どもの姿を観察するだけではなく、保育の計画(P)・実行(D)・評価(C)・改善(A)を繰り返し体験することで、保育者としての専門性を学んでいきます。このようにして、保育の基礎力を身に付けていくことになります。

■保育内容(健康)

子どもたちの健康・遊び・安全についてグループワークで学び合う。

子どもたちの心身の健康に関する領域「健康」では、基本的な生活習慣・遊び・安全等のテーマに重点を置いて、保育者の指導・援助のポイントを実践的に学びます。

運動遊びの模擬保育では、幼児期運動指針をふまえて、発達特性に応じた運動の在り方や保育者の関わり方をグループワークで理解します。

また、安全の確保や事故への対応、乳幼児の一次救命処置の手順、災害時の行動など、子どもの命を預かる保育者の責務についても学びます。

■幼児と表現

身体・音楽・造形の学際的コラボレーション。

子どもたちは体を動かすこと、歌うこと、絵をかくことが大好きです。音に合わせて体が動くダンスに、ダンスに合わせて服を選ぶと衣装になります。

身体表現にバレエのエッセンスを取り入れ、それに合う音楽表現(選曲や演奏)を探究し、それらを融合させる造形表現を考えます。

人の手によってつくられ、時代や地域を超えて受け継がれてきたアート(芸術)の中にある普遍的なものを子どもたちの表現活動に生かしたい。そのために教員も学生も教科を超えた新たな学びに挑戦しています。



■保育内容総論I・II

保育を構想するために必要な内容を学ぶ。

保育の場では、毎日子ども達が自分らしく伸び伸びと遊びや生活を送っています。そこでは、愛情豊かに子ども達に関わる保育者の存在がとても重要になります。

保育内容総論では、保育の基本となる保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領について理解し、事例や映像等も交えながら、環境を通して行う教育の考え方や子どもの目線に立った子ども理解のあり方、保育者の役割について学んでいきます。

■子育て支援

子どもの生活を支える保護者への支援を学ぶ。

子育て支援では、保護者への支援を通して、「子どもの最善の利益」を実現する方法について学びます。「子どもの最善の利益」は、「子どもにとって最もよいこと」に取り組むという、保育者の基盤となる考え方で、

この「子どもの最善の利益」は、保育所や幼稚園のことに限りません。子どもが家族と安心して暮らせることや、将来、学校で友達と楽しく過ごすなど、子どもの生活全体を視野に入れる必要があります。

そのために保育者は、子どもの家庭生活を支える保護者の相談にのり、協力し、一緒に子どもを育てるパートナーでなければなりません。授業では、こうした保護者への相談や助言、関係構築の方法を、事例検討やロールプレイを通じて学びます。



センパイの声
SENPAI MESSAGE



幼児保育学科2年 渡邊 果子

私は、保育士として働く母の影響を受けて保育者を目指すようになりました。一人ひとりの子どもと真摯に向き合い、子どものための保育を考え実践している姿に憧れをもち、保育士資格や幼稚園教諭の免許を取得することのできるこの高知学園短期大学に入学することを決めました。

学校生活において、保育に関する専門的な学習では難しい単語がなかなか覚えられなかったり、歌いながら上手にピアノが弾けなかったりと、まだまだ学びを深めていかなければならないことがたくさんあると実感しています。また、幼児保育学科では2年間で5回の実習が行われるため、とても忙しい日々を送っています。

専門用語の理解や弾き歌いの練習、実際の保育現場での学習など、内容が難しく大変なこともたくさんあるため、入学時は不安いっぱいでしたが、充実した学習環境や同じ目標をもつ友人の支えのおかげで、忙しい日々にも奮闘しながらも少しずつ成長できているように思います。

専門的な知識・技術を身につけることで、憧れの保育者像に少しでも近づくことができるよう、今後も日々の勉強に励みたいと思います。また、学校生活での様々な経験を通して1人の人間としても成長していきたいです。



出発式

幼稚園教諭免許状と保育士資格を取得し、保育者としての責任と自覚を高めるために、幼児保育学科では「出発式」を行っています。

歯科衛生学科

歯と口の健康と全身の関連について総合的に学び、
歯科衛生士を目指します。

Dualification

取得可能な免許・資格

- 短期大学士(歯科衛生学)
- 歯科衛生士国家試験受験資格



Department of Dental Hygiene

■歯科衛生学科が大切にしていること

学科内での交流

1年生から3年生までの交流は活発に行われ、学習や実習でわからないことなど、先輩たちが気軽にサポートしてくれています。「歯科衛生士」を目指すという同じ目標に向う仲間としての絆は社会に出ても大切にしています。

実践力の育成

学科の実習室には、歯科医院と同じ設備が整然と整備されており、知識や技術を身につけ、安心・安全な実践力を育成しています。高知県内の歯科医院に勤務する歯科衛生士は、本学科の卒業生が8割を占めています。各医院では、歯科臨床実習の時から親身になって指導をしてくれており、就職後も安心して仕事に就くことができます。

地域への貢献

学生が主体となって行う地域活動は「歯っぴいスマイルフェア」をはじめとして、様々な場所で、地域の方々とふれあひながら口腔健康支援を実施しています。特に「はみがき指導」は、2000人以上の幼児から小・中学生などを対象に毎年行っています。この活動によって、コミュニケーション能力や、実践的なマナーが培われています。



■歯科衛生学科の教育目的

幅広い教養を深めるための基礎分野では、豊かな人間性と倫理観、異文化を理解することによりグローバルな視点を培い、多様な講義・演習・実習の専門分野では専門的職業人として主体性をもち、継続的な口腔衛生管理及び食支援をすることができる知識と技術を習得し、生涯にわたり自己研鑽を重ねる志とコミュニケーション力を兼ね備えた歯科衛生士を養成します。



CAREER DESIGN

歯科衛生学科のキャリアデザイン

卒業と同時に短期大学士(歯科衛生学)と歯科衛生士の国家試験受験資格が取得できます。学内の講義・実習と学外実習を通して実践力を養い、多様なカリキュラムを編成しチーム医療の一員として連携できる歯科衛生士を目指しています。



MESSAGE 先生からのメッセージ



歯科衛生学科 講師
野村 加代

歯科衛生士は、生涯にわたり歯と口の健康づくりに関わり、むし歯や歯周病などのお口の病気の予防や口腔機能の維持・向上ができるよう支援し、全身の健康を守っていく仕事です。

本学は、高知県内で唯一の歯科衛生士養成校であり、多くの卒業生が専門職として国家資格を活かしてそれぞれの職域で幅広く活躍しています。

歯科衛生士の主な仕事内容は、むし歯や歯周病などの病気から守る歯科予防処置、診療をスムーズに進めるための歯科診療補助、お口の健康を守るために、健康意識の向上と保健行動を奨励させるための

歯科保健指導などがあります。

人生100年時代と言われる時代となり、「食べる・話す・呼吸をする」といった口腔機能の維持・向上が大切だと言われています。健康長寿をめざすためには、食物をよく噛み栄養を取り入れることが大切です。お口の健康を守るためには口腔健康管理が必要であり、歯科衛生士は、その役割を担っているやりがいのある仕事です。

ぜひ本学歯科衛生学科で、一緒に学び歯科衛生士をめざしてみませんか。

特徴的なカリキュラム
CURRICULUM

■ 口腔衛生学I

歯と口腔の疾患予防や健康増進について学ぶ。

口腔衛生学Iは歯科衛生士にとって全ての授業の基礎となる科目です。歯と口腔を健康に保つための原理を探り、疾病を予防し健康を保持・増進させることを目的としています。歯科衛生士として、歯・口腔を健康に保つための手段・方法を身につけます。

■ 口腔解剖学I・II

歯の形態や歯列・咬合、歯および歯周組織の知識を学ぶ。

口腔解剖学Iでは、顎口腔領域の形態、構造について学びます。今後増加する高齢者・要介護者が抱える問題となる嚥下障害など口腔の機能についての基礎知識を理解します。

口腔解剖学IIでは歯牙の形態、構造について学びます。歯の形態はそれぞれ異なっており、一本一本の歯がそれぞれどのような働きをしているのか、また、歯科衛生士として歯(歯冠・歯根)の特徴を理解することは、目に見えない部分の歯石を取る(スケーリング)際に必要なことです。

■ 健康教育

病気に対する知識や口腔状態、セルフケア方法を理解する歯科健康教育を学ぶ。

様々な年齢層に応じた歯みがき指導ができるように、学生間で目的を設定し、学生の主体性とチームワークに重点をおいた授業を展開します。年齢にあった媒体を作成し保育園・小学校・介護施設等で歯みがきや口腔機能向上の指導実習をします。



歯磨き指導

■ 高齢者・障害者介補技術

高齢者や障害者に重要な口腔ケアの技術を学ぶ。

歯科衛生士も歯科医院から在宅・病院・施設などに訪問の機会が多くなってきました。高齢・障害者についての身体・精神の程度、症状等を正確に理解し、力学的相互関係を活用した介護技術を学びます。(ポディメカニクス)

■ 診療補助実習

実習を通して、歯科診療補助の実践的な技術を学ぶ。

臨床現場に近い環境で、診療の流れや処置内容に合わせた補助業務を学び、技術を習得します。さらに、感染対策についてもしっかりと学びます。

実習で使用する器具類は完全に滅菌・保管され、安心した実習を行うことができます。

■ 歯周病予防処置・う蝕予防処置

歯を失う原因にもなる歯周病を知り歯周病の予防処置を学ぶ。

歯周病の予防では、スケーラーで歯石などを除去します。むし歯の予防では歯にフッ化物を塗ったり、予防充填という処置をするなど病気の予防のための知識や技術を実習します。



地域の災害時にも医療に貢献します!

ポータキュブ+(プラス)は訪問診療用のポータブルユニットです。本校ではいち早くこのユニットを導入し、地域医療や災害時などの医療を根底で支える歯科衛生士を育成します。



ここもチェック!
充実した実習環境!
歯科医療現場と同等の設備で実践力を養います。



県内唯一の歯科衛生士を養成する教育機関です。

■ オーラルヘルスケアテクニック

予防を目的とした歯のメンテナンス技術と知識を学ぶ。

オーラルヘルスケアは、オーラル(口腔: oral)ヘルス(健康: health)ケア(管理・予防: care)を意味しますが、口腔の問題にとどまらず全身の健康やQOLとも関連することが明らかになってきました。心身ともに健康であることをもとに知識や技術を習得していきます。

■ 災害と支援活動法

災害時における口腔ケアや口腔衛生の重要性と災害予防の観点における支援を学ぶ。

災害には、風水害、震災、雪害などの自然災害の他、人為的災害があります。その場合、歯科医療や歯科保健の支援が必要になります。

災害時は、住み慣れた自宅での生活から一転して、食事や睡眠・ストレスなども大きくなるため、多職種とも連携しながら健康管理や支援内容、コーディネートなどのすすめ方を習得していきます。

センパイの声
SEMPAI MESSAGE



歯科衛生学科2年 横山 鈴

私は高校生の頃から「歯科衛生士」という職業に興味があり、県内で唯一歯科衛生士の課程が学べる高知学園短期大学に進学しました。

入学当初、私は親元を離れ、寮生活という新しい生活と、大学の授業形態や初めて学ぶ学習内容についていけるか少し不安でした。しかし、歯科衛生学科の先生方や周りの友人に助けられ、今では充実した学生生活を過ごせています。

先生方は一人ひとりの良い所を伸ばしてくれ、学短で出会った友人は個性豊かで楽しく、一緒に「歯科衛生士になる」という同じ目標に向かい一生懸命励んでいます。

歯科衛生学科では、「身体の健康は口から」というように歯のことだけではなく身体全体のことについて学びます。患者様の人生の一部に携わり、歯の健康を衛れる歯科衛生士は素晴らしい職業だと思っています。

入学して一年が経ち、これからも学ぶことが沢山ありますが、歯科衛生士という目標のため日々精進していきたいです。

連続と受け継がれる誇りと伝統のセレモニー



継承式

継承式では、先輩から後輩へローソクの灯火が受け継がれます。この灯火は「消えることのない心のある医療を目指す証」としてまた、「本学の歯科衛生士として誇りと情熱、患者様に対する誠意」の意味が込められています。この継承式は、臨床実習前に行われます。



たちばな徽章

第一期生の誕生から54年。歯科衛生士としての情熱と誇りは今も脈々と後輩たちに受け継がれています。歯科衛生士として常に原点に戻り、臨床実習に向かうにあたり、社会貢献を誓う継承式で、この徽章が贈られます。徽章には、本学の校章である「橘」の花が描かれています。



看護学科

人々の生活を健康の視点から支えられるよう、
健康や看護について学び看護師、養護教諭(二種)を目指します。

Qualification

取得可能な免許・資格

- 短期大学士(看護学)
- 看護師国家試験受験資格
- 養護教諭二種免許状



Department of Nursing



看護学科が大切にしていること

- 社会ニーズの多様化、医療技術の進歩など、医療をめぐる環境の変化の中で活躍できる看護師を養成します。
- 看護師、保健師、養護教諭の資格を有する実践者達と学生のなりたい未来の姿を目指す。
 - 教員と学生とのコミュニケーションを通して一人ひとりの成長を支える。
 - 倫理的(人として守り行うべき道。)道徳的な思考を育てる。

一緒に本学で学んでみませんか? 全力で応援します!

■看護学科の教育目的

平和と友愛の精神を基盤に、豊かな人間性と倫理観を備え、学習した専門的知識・技術を用いて、根拠に基づいた看護が実践できる能力、他者と協働し人々の健康と生活の質の向上に貢献できる能力、そして研鑽を継続していく能力をもった看護専門職者を養成します。



CAREER DESIGN

看護学科のキャリアデザイン

卒業と同時に短期大学士(看護学)と看護師国家試験受験資格が取得でき、さらに必要な科目の単位修得により養護教諭二種免許状も取得できます。卒業後は、病院や訪問看護ステーションなど様々な場で看護師として活躍したり、学士(看護学)の取得や保健師、養護教諭(一種)を目指して専攻地域看護学専攻に進学する途も開けています。

看護師国家試験受験資格



養護教諭二種免許状(選択)



予想される進路

- 病院
- 訪問看護ステーション
- 介護保険施設
- 海外での看護活動
- 学校
- 進学



MESSAGE 先生からのメッセージ



看護学科 講師
竹内 浩美

超高齢社会の到来、更にコロナ禍においては、医療に対するニーズは急速に増大し、人々の暮らしや価値観も多様化しています。これらのニーズに対応するためには、看護職は、看護に必要な知識・技術の習得に加え、身に付けた知識に基づき思考する力、その思考を基に臨機応変に行動する力が求められます。

私は、看護師として30数年病院に勤務し、新人看護師教育にも関わってきました。その私が、3年前に新人看護師を迎え入れ育てる立場から、看護学生を育成し臨床現場に送り出す看護職者の教育に関心をもち、この学校に来ました。

1年生は、教養科目や基礎分野、2年生は、看護の専門分野について学習し、基礎実習から領域実習へ

と学びを広げていきます。そして、最終学年の3年生になると、これまで身につけた知識や技術を基に看護の統合と実践を学び、思考する力や行動する力を習得していきます。

入学間もない頃は高校生らしかった1年生が、専門科目を習得することにより、段々と看護への興味が湧き、3年生になると、患者さんやご家族を中心に考えるようになるその姿に看護職者の育成に携わる者として喜びを感じます。

人と関わることが好き、子どもや高齢者を見かけると何か気になる、人のために役に立ちたいという方は、この学校で是非私たちと一緒に看護を学びましょう。

特徴的なカリキュラム
CURRICULUM

■ファーストステップ演習……………
看護学生として、初めて看護の現場を体験する。

この科目では、看護の対象者が過ごす病院や施設に出向き、現場の看護師の対象者との関わりを見学し、看護の実際について考えます。看護の対象者とその対象者の生活の場を知り、自宅での生活環境との違いを考えます。また、コミュニケーションを通して看護職者として求められる意識や姿勢について考えます。学んだ知識と体験を結び付けるためのグループワークを中心に授業を展開します。

■看護学概論……………
看護学の入門として「看護とは何か」を学ぶ。

初めて看護学を学ぶ皆さんが、「看護とは何か」について考えていくための入門となる科目です。看護の定義や目的、対象の捉え方や看護を提供する場など、看護の基本的な内容を学びます。

今後、学生の皆さんが自身の看護観をつくっていくための、基礎を養う科目です。

■地域生活論……………
援助する人々の「地域」や「生活」を捉える視点を養う。

看護の対象である「人」は、地域で生活しています。その「人」に援助をするためには、「生活」や「地域」の理解が不可欠です。

この科目では、グループディスカッションを通して、人々が地域で生活することの意味や、生活と健康との関係について考えていきます。

■急性期看護援助論……………
急激な健康状態の変化が起こっている対象への看護について学ぶ。

急性期は、疾病、外傷、手術などによって健康状態の急激な変化が引き起こされた時期です。急性期看護援助論では、このような時期にある対象の生命を守り、速やかな回復を促進するための観察、判断、適切な処置・ケアに関する知識や技術を学びます。

また、急性期の健康問題を持つ対象を身体、精神、社会面から総合的にとらえ、安全や安楽に配慮した看護援助の方法について学びます。

■慢性期看護援助論……………
慢性期にある健康問題をもつ人が、自分らしく生活を送るためにはどのような看護が提供できるかを学ぶ。

慢性期にあるとはどのようなことを意味するのかを考え、健康問題を自らマネジメントしながら生活している方に、どのような場面でどのような看護が必要か具体的に考えていきます。

設定した模擬患者さんについて、グループで協力しながら課題の解決に向けて看護を展開し、それを発表することで、考え・伝え・他者と共有しながら学びを深める授業を展開していきます。

■小児看護学概論……………
子どもと家族の理解を深めながら、小児看護学の理念と特性について学ぶ。

子どもを理解するための基礎となる考え方や理論を学び、成長・発達過程にある子どもの特徴について理解を深めます。

また、様々な発達段階の子どもと家族の生活、健康問題を理解し、健康を害することが子どもと家族にとってどのような体験なのかを考えます。さらに、子どもの権利を擁護するための倫理的な考え方を学びます。

■老年看護援助論I……………
高齢者のもつ強みを活かして自律した生活を支える看護について学ぶ。

高齢者は、豊富な経験と知識をもち、それぞれ多様な生き方をされてこられた個性の強い存在です。



先輩の声
SEMPAI MESSAGE



看護学科3年 堀内 美良

私は地域住民に看護され、地域で生活する人々がより一層健康で活力のある生活を送ることができるように支援・企画ができる保健師になるために看護学科に入学しました。

まず1年次では、解剖生理や看護技術などの基礎知識を学びます。人体の仕組みが分かっていなければ、疾患を理解することや疾患による対象者の困りごとをサポートすることは出来ません。たくさん覚えることがありますが、コツコツ学習を積み上げていくことが大切です。

2年次では、初めての臨地実習前の戴灯式を経て、看護師になるという自覚と責任感がより一層強まりました。その後の基礎看護実習では、看護師の役割や対象者とのコミュニケーションや療養環境について学ぶと同時に自分自身を見つめ直す機会となり、自分の強みや課題が明確になりました。それらを次にどう活かしていくかを考え、実践しようと努力することは、理想の看護師像に近づくために必要であると思います。

実習は大変なこともあります。乗り越えていくことで仲間との絆も生まれます。また、1人で抱え込まず、時には先生に相談したり頼ったりすることも必要です。

これから看護師国家試験の合格や専攻科への進学を目指し、自分の夢に近づけるよう一日一日を大切に、努力していきます。

■精神看護実習……………
こころの問題を抱える対象の生きづらさを理解し、必要な看護について考える。

精神看護実習では、精神科の病棟で、統合失調症や躁うつ病・不安障害・摂食障害といったこころの病気を持つ方と出会います。

そこで話を聴かせていただきながら、病気による症状の辛さや生きづらさについて考え、病気のために日常生活をうまく送ることができない場合の援助を学びます。また、精神疾患を持つ人々とその家族が、地域でより良く生きることを支えるための法律やサービスについて学びます。



加齢変化と病や障害をあわせもつ心身の捉え方や、食事や排泄にみられる高齢者に特徴的な変調と援助技術について学び、高齢者の強みを活かした日常生活援助に応用できる力を培います。

■母性看護実習……………
妊娠、出産を通して、命の尊さ、個人の尊厳を肌で感じる実習。

母性看護実習は、出産前後の母子を受け持ち、母親と新生児が健康に過ごしやすい母子関係を築いていくための看護を学びます。学生それぞれが自分の誕生について思いをはせ、生命の尊さについて考える実習でもあります。

出産直後のこの時期は母子共に心身の変化が激しく、順調な経過をたどっているかどうかの観察や判断がとても重要になります。病院での実習を通して、母子の健康状態を判断するための知識や技術、新しい生命が家族に迎えられるための援助の視点を学びます。

戴灯式



看護師の行動指針である「看護者の倫理綱領」を朗読し、看護専門職者として引き受ける責任を自覚します。

地域看護学専攻

独立行政法人 大学改革支援・学位授与機構 特例適用専攻科

保健師、養護教諭(一種)を目指します。

Qualification

取得可能な免許・資格

- 学士(看護学)の学位
- ※ 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構認定
- 保健師国家試験受験資格
- 養護教諭一種免許状
- (養護教諭二種免許状取得者のみ)
- 第一種衛生管理者
- (保健師免許取得後申請による)



Advanced Course in Community Health Nursing

ココをチェック! 地域看護学専攻の特徴 CURRICULUM

公衆衛生看護を学ぶ

公衆衛生看護の基盤となる考え方を学ぶ。

公衆衛生看護は、行政・学校保健・産業保健の3領域を含み、地域で生活する誰もが、心も身体も健康で自分らしく暮らすことができるように、人と環境に働きかけを行います。

本専攻科では、学内での講義や演習に加え、実際に地域に向き地域を知る体験や、実習を通して公衆衛生看護を学んでいます。

少人数制のきめ細やかで手厚い授業

主体的な協同学習で社会人基礎力を培う。

定員20名という少人数で、講義、演習に取り組みます。授業は表現力や理解力を高めるためのグループワークやロールプレイがふんだんに取り入れられています。その経験から「自ら学ぶ力」を身につけていきます。国家試験対策もクラスで協力して取り組みます。

専攻科生の修了研究

研究の集大成をプレゼンテーション。

担当教員の個別指導のもと、自らテーマを設定し看護研究の一連のプロセスに取り組み、研究能力を高めます。

研究内容や研究方法の検討はもちろんのこと、研究に必要な手続きや研究倫理に関する事など、将来看護専門職者として看護研究に取り組むことができる能力を培います。

先輩の声 SEMPAI MESSAGE



専攻科地域看護学専攻
修了生
押岡 若奈

看護職者には、保健師や助産師、看護師など様々な職種があります。中でも保健師は、行政や病院、企業など多岐にわたる就業場所があり、地域で暮らす全ての人々を対象に、疾病予防・健康増進を回る役割を担っています。私は、この保健師という職業に魅力を感じ、専攻科地域看護学専攻への進学を決めました。

授業では、実際に地域に向き、その地域に滞在・潜在化する課題を明確にし、支援方法を考えます。臨地実習では、対象者一人ひとりの生活や価値観、思いを知ることができたと感じています。また、修了研究では、自身の考えに根拠を持って言葉にすることや、何事にも常に疑問を持ち続けることの大切さを学びました。このように、専攻科では看護学科の学びや経験を基に、より広い視野で考える力を養います。

私は、これまでの学びを活かして、病氣や治療、看護についての基盤を固め、病院から地域での暮らしに目を向けた看護を提供できる看護職者を目指します。

■専攻科地域看護学専攻の教育目的

平和と友愛の精神を基盤に、修得してきた看護師の専門的知識と技術をもとに、公衆衛生看護学の知識体系を学修します。そして、広い視野と洞察力、豊かな創造性をもって他者と協働し、個人・家族・集団・組織からなる地域社会全体の健康レベルと生活の質の向上のために貢献できる看護専門職者を養成します。さらに、研究活動や看護実践を通して倫理的感性を高めるとともに、課題発見力や倫理的な思考力、表現力といった看護学の発展に寄与するための能力を養います。



CAREER DESIGN

地域看護学専攻のキャリアデザイン

本専攻科を修了し、学位申請(特例適用専攻科)又は機構の認定(認定専攻科)により4年制大学と同等の学士(看護学)を取得できます。

●保健師国家試験受験資格



●学士(看護学)の学位



●養護教諭一種免許状(選択)



予想される進路

- 都道府県庁・市役所(保健所)
- 学校
- 市町村役場
- 進学
- 医療機関



修了研究発表会

01 Department of Nutrition



健康科学部
管理栄養学科3年

長崎 くるみ さん

管理栄養士を目指そうと思った理由は2つあります。1つ目は普段から食べることや料理をすることが好きで、将来は食に関わる仕事に就きたいと思ったからです。2つ目は、小学校の頃お世話になった給食の先生(栄養教諭)や家庭科の先生のように、栄養の知識を教育の現場で活かしていく仕事に憧れを持ったからです。

私は、管理栄養士の受験資格と教員免許の資格を両方取得できるというところに惹かれてこの大学に入学することを決めました。教職課程を選択すると、授業数が増えて課題も多くなりますが、朝早く起きたり空きコマに勉強することをあらかじめ決めたりして日々の隙間時間を有効に使えるようにしています。

実験や実習が多いので大変なこともあります。執行部として学園祭の運営をしたり、夏休みにはよさこい祭りに参加したりと色々なことに挑戦しながら充実した毎日を送っています。また、今年の秋から茶道部に入学したことで他学科の学生ともかかわる機会ができたのでお茶と一緒に学びながら交流を深めたいです。

02 Department of Medical Laboratory Science



健康科学部
臨床検査学科3年

村田 智美 さん

私がこの道を選んだきっかけは、ある医療系ドラマでした。臨床検査技師による検査(仕事)があるからこそ診断が行えるという医師を支える役割があり、なくてはならない職業というところに魅力を感じ、臨床検査学科への入学を決めました。

1年生では、教養科目や基礎科目の授業が行われ、週1~2回の実習が行われます。実習も含め基礎的なところをしっかり学ぶことができました。

2年生では、専門科目の授業が行われ、採血や検体を用いた実習など、より実践的なことを学びます。学生同士で行う実習もあり、患者さんへの接し方等も学ぶことができました。

入学当初は専門用語が飛び交い、授業についていくことが大変でしたが、何度も学ぶと分かるようになり、各授業で習ったことが1つに繋がったときは、勉強することが楽しいです。また、学んだことに「どうして」と思うようになり、分からないことを先生に聞くと丁寧に教えて下さって、先生も調べて分かるまで一緒に勉強して下さいます。

勉強することは大変ですが、自分が得た知識と技術を習得することで、人を助けることに繋がると思うと学び甲斐があります。検査面から患者さんを救えるような臨床検査技師になることが私の理想です。

03 Department of Early Childhood Education and Care



幼児保育学科51期生
高知市中野保育園勤務

森木 さくら さん

私は、短大を卒業後高知市内の保育園に勤務しています。現在は2年目で、1年目に学んだことや経験したことを実践して活かし、子どもたちと楽しい毎日を送っています。

保育士として大切にしていることは「子どもの目線に立つこと」です。幼稚園での1ヶ月の実習の時に素敵な先生と出会いました。どんな事でも子どもたちと一緒にやり、その時の楽しい気持ちや悔しい気持ちを一緒に経験しようとする先生でした。子どもと同じ遊びを同じ目線、同じ気持ちで楽しんでいる姿を見て、こんな先生になりたいと強く思いました。

実際、自分が保育をしてみるとこれは本当に難しいと感じているところです。短大の授業や実習では学ぶことが出来なかったことが沢山あります。それでも日々、悩んだり間違えたりして、その一つひとつが保育士としての自分の成長につながっていると信じて、子どもたちと向き合っていくと思っています。

毎日の一つひとつの経験は、自分を成長させてくれる大切なものです。初めてのことや苦手なことも保育として成長できるチャンスだと、前向きに捉えて挑戦してみてください。短大で学んだことを糧に素敵な先生になったみなさんと一緒に保育ができる日を楽しみにしています。

04 Department of Dental Hygiene



医療衛生学科歯科衛生専攻38期生
田岡歯科・矯正歯科クリニック勤務 歯科衛生士

田中 智 さん

9年間勤務する田岡歯科・矯正歯科クリニックではクリニックの未来を考えるマネジメント、新人採用・育成、ホワイトニング部門責任者として務めています。患者様が安心して来院していただけるような関わりの出来る人になりたいと思いついた歯科衛生士。今では歯科衛生士は人の人生に関わる職業だと思っています。

疾患を治療することはもちろんですが、原因になっている生活背景までサポートする関わりを大切にしています。その為に笑顔で丁寧に1人1人の患者様に寄り添い、コミュニケーションを取りながら信頼していただけるよう日々心掛けています。できていないところを指摘するのではなく、できているところを認めてもっと良くなるためには1という提案を行います。

患者様のお口の中が健康になり維持していけると自然と笑顔や感謝の言葉をいただけるようになり、担当をご希望していただけるようになったりもします。その小さな積み重ねが私の自信になり「もっともっと誰かの人生が豊かに、幸せになるお手伝いをしたい」という思いが溢れ、歯科衛生士としてのやりがいを感じています。

歯科医院は「行かなければいけない場所」から「行きたい場所」になることが私の願いです。

05 Department of Nursing



看護学科12期生・専攻科地域看護学専攻12期生
梅原小学校 養護教諭

弘田 昇陽 さん

私の母は看護師であり、その影響で幼い頃から看護師に憧れを抱き、高知学園短期大学看護学科に進学しました。入学後は看護師免許の取得だけでなく、養護教諭を目指すことができる事を知り、友達勧めもあって教職課程を選択しました。

学びを深めていく中で、私は子ども達を笑顔に出来る職業であり、毎日楽しく元気に学校生活を送れるようにサポートする養護教諭に憧れを抱き目指すようになりました。看護学科卒業後は養護教諭一種免許を取得する為に専攻科に進学し、様々な人に支えられながら、教員採用試験に現役合格する事が出来ました。

学短では、看護師だけでなく、保健師や養護教諭の資格も取得する事ができ、キャリア選択の幅が広がる事が強みであると思います。私は看護師・保健師免許をもった養護教諭として働いています。看護と教職課程の両立は大変でしたが、行き詰った時には話を聞いてもらい、時には背中を押してくださる先生方に助けられ、また、楽しさや辛さを分かち合える仲間にも出会う事ができ、頑張る事が出来ました。

皆さんも学短看護学科で学びを深め、看護師や保健師、養護教諭を目指してみませんか。

Communication

学生とのコミュニケーションを基本にし、親身に「学ぶ側の立場」で
ていねいに教えていくことをモットーにしています。



TRY

未来をひらく。

[挑戦と成果]



サポート
Support



情報企画部長 参与兼学生部長 教務部長
岸 康人 二宮 久美 生島 淳

これからの大学教育でとくに大切にしなければならないことは、学生の
自律的な学びと、社会人として必要なスキルや価値観の習得です。私たち
は、これらを実現するために、積極的な教育改革を進め、学生のみなさん
の成長を支援する教育環境を整備していくことに努めています。

その実現のために、学生部は、学生のみなさんの生活環境やキャリア形
成に関する支援を行い、安心して大学生活を送ることができるようにして
います。教務部では、カリキュラムの設計や修正、授業時間割の作成など学
生のみなさんがスムーズに学修を進めるための支援と学びのサポートを
しています。情報企画部は、大学のウェブサイトやポータルサイトの運営、
メールシステムや学内ネットワークの管理などの大学の情報システム全般
を担当しています。

このように、大学の学生部、教務部、情報企画部が連携することにより、
学生のみなさん一人ひとりがより充実した大学生活を送ることを目指して
います。



自主的に学ぶ、追求する、関わる



図書関連の情報発信や親しみやすい館内のPOP作成にも、学生自らが参加しているよ!



グループで課題や調査などに取り組むときに便利なグループワークルームがあります!

図書館はもうひとつの机です



静かに集中したいときはぜひ使ってみて!



食・教育・医療分野を中心にした約8.7万冊の図書・学術誌。

本学図書館は、学習のために利用する施設であると同時に、気持ちに安らぎを与える空間でもあります。館内にある個人ブースの机を使えば、そこは自分だけの「もうひとつの机」となります。あるいは、本に囲まれた静かな環境にただいて、勉強に疲れた心身を癒してくれる「居場所」に様変わりします。いつでも勉強したり本を読んだりすることができる、そして図書館にただいて何かに気づき、感じ広がっていく感覚を味わうことができる、そんな気持ちのリフレッシュを提供するオアシスなのです。

この恵まれた環境で主体的な学習を推進するため、館内には食・教育・医療分野を中心にした8.7万冊の図書や学術雑誌(約100種類)、視聴覚資料(1,000点以上)を整備しています。

特に食と栄養分野および臨床検査、幼児教育・保育関係に歯科衛生、さらには看護に係る専門的な資料の充実ぶりは、在学生と教職員だけでなく、卒業生を含む一般の利用者からも好評をいただいています。

一方、図書以外でも学習を支援するための

施設を整備しています。まず、パソコンコーナーでは専門性に関わるデータベースを利用して、最新の電子ジャーナルにアクセスすることができます。閲覧スペースでは一般図書や雑誌を読んだり、共有スペースや個人ブースで勉強したりしながら、自分の時間を過ごすことができます。視聴覚ブースでは、DVDやCDを視聴して気持ちをリフレッシュする学生も多です。さらにグループワークルームでは、プレゼンテーションやディスカッションを進めて主体的に探究し、思考を深めながら、解決の道を模索する場所としても活用されています。

このように、図書館は、勉強に関する図書、勉強とは一見離れた図書、DVD等を含む多様なメディアを通して、皆様の学習意欲を後押しする重要な拠り所となっています。特にインターネットにはない情報が詰まった資源から効率よく情報を収集して皆様の

成長を支援する拠点、それが図書館の魅力です。皆様それぞれの思いに合わせて利用できるよう、図書館スタッフは「いつでもWelcome」の気持ちでサポートさせていただきます。



図書館長
吉村 育



実習室(8号館)

高知県産木材を多用した実習室は、無機質になりがちな空間に温もりと落ち着きを与えてくれます。また、外部とつながる開放的なガラスエリアは、外の気候の変化を感じたり四季の移ろいを楽しむことができる環境を実現しました。1階は生化学、臨床化学、基礎栄養学などの実習に2階は血液検査、細胞組織標本の染色や観察、人体の構造学などの形態学の実習に、3階は免疫学、微生物学、輸血・移植検査学等の生体防衛に関する検査の実習に使用します。



講義室(8号館)

木目を活かした温もりある空間。明るく開放的な講義室です。



基礎看護実習室(3号館)

実際の病院に近い設備を備えた実習室で、基礎的な看護技術を身につけます。



生理系実習室(2号館)

心電図、脳波、超音波検査等の生理機能検査や画像検査の実習、人体の機能学実習を行います。



給食経営管理実習室(5号館)

本格的な厨房や配膳機を備えて、集団給食の調理・運営・管理などを実践しながら学びます。



歯科臨床実習室(5号館)

技術の習得のため歯科医院と同じ設備が18台あります。歯科医療現場と同じ実習環境を整えて、より実践に即した技術や知識を学べます。



調理実習室(5号館)

IHクッキングヒーターで安心して調理が可能です。明るくクリーンな実習室です。



パソコン実習室(5号館)

パソコン操作もひとり1台の環境でわかりやすく教えます。



食品学実習室(2号館)

食品学総論、各論および食品加工学で学んだ知識を実際に体得し、経験しながら学びます。



講義室(1号館)

学びの環境をバックアップするために、デスクも木質系の落ち着きあるものにリニューアルしました。

環境
Surroundings

キャンパスライフをサポートする環境



大講義室(7号館)
200インチリアプロジェクターなどを完備した、350名収容の大講義室です。講演会、研究発表会、学会、式典などに使用されます。



空中回廊



711講義室(7号館)



学生食堂(1号館)

学食人気メニュー
学短ランチが
オススメですよ~

日替りランチやオリジナルのお弁当など、手頃な価格で味わえます。

※メニューは一例です



ML教室(1号館)



パティオ



和室



乙女の像(学園内パティオ)



正門

災害への備え

大学の耐震化をはじめ災害への備えも万全。年に一度の避難訓練や防災用の備品庫を学内各所の見える所に配置することで、日頃から災害に対する危機意識を高めるとともに、緊急地震速報や防災マニュアル等で万全の対策を整えています。



各棟に備えた防災庫



防災
タタメット



耐震化された校舎

環境
Surroundings

高知県内初、木造3階建の8号館



8号館は、主要構造の一部にCLTを用いた「木造3階建の校舎」です。CLTの国内最大寸法12mの壁柱を採用し、三層階通しの、日本でも極めて珍しい工法を用いました。断熱性や遮炎性に加え、高耐力を有したゆとりある実験研究室など、校舎全体が木の温もりに包まれたやさしい学習環境を実現します。

- ウッドデザイン賞2020 入賞
- 令和2年度木材利用優良施設コンクール 審査委員会特別賞
- 第18回高知県木の文化賞



サポート
Support

キャリアセンター



社会へ巣立つ前に必要なチカラを身につけるお手伝いをします。



キャリアセンター長
大野 由香

豊かな教養を身につけたスペシャリストは、社会で求められる人材です。本学は、学生の皆さん一人ひとりが社会人として、また専門職として自立できるように必要な基礎である資質能力の獲得ができるよう教育体制を整えています。

「人生100年時代の社会人基礎力」として、経済産業省から3つの能力(前に踏み出す力)〈考え抜く力〉〈チームで働く力〉と3つの視点〈どう活躍するか【目的】〉〈何を学ぶか【学び】〉〈どのように学ぶか【組み合わせ】〉が示されました。本学では、それらキャリア形成基礎力に「感じ広げる力」を加え、学生が講義や実習、課

外活動など大学生活の様々な場面を通して学び、さらにリフレクションしながら前向きに進んでいけるようサポートしていきます。

技術革新によって知識やスキルが次々と変化する時代、自然災害の発生など複雑で不透明な時代を生き抜くためには、自らのキャリアを自らが考え、それを表現するために必要なスキルを身につけ、常に学び続けながらアップデートしていくことが不可欠となります。本学では、そのような力を身につけた専門的職業人として、地域においてなくてはならない存在として成長していけるよう見守り、支援していきます。

社会の第一線で働く講師陣のキャリアセミナー(実績より)



将来のことで悩んだり、就職活動のことで不安なことなど、親身になって相談のってくれるよ。

第一線で活躍している方のセミナーも定期的に行っています。

※セミナーの開催はコロナウイルス感染症の蔓延防止に応じた取組を継続しています。

就職
Support

希望職種に就職
しているのが本学の強みです。

2009年度より

14年連続 100%の就職率。

就職活動を行う前に自分自身をしっかりと見定め、理解することが大事です。学生生活をどのように過ごし、学んだかは卒業後の人生と大きな関わりを持ててきます。就職そのものが人生の目的ではなく、仕事とキャリア(人生)という大きな人生設計と捉えて「自分らしい人生のあり方」を支援するための、さまざまなプログラムや情報提供をしていきます。



奨学金
Support



■高等教育の修学支援新制度

授業料・入学金の免除または減額(授業料等減免)と給付型奨学金の支給。一定の要件を満たすことの確認を受けた大学等を対象機関とすることとなっています。高知学園大学は令和元年12月20日付け、高知学園短期大学は令和元年9月20日付けで高等教育の修学支援新制度の対象機関として認定を受けました。

【文部科学省 高等教育の修学支援新制度ホームページ】

https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/hutankeigen/index.html

いろいろな
奨学金があります

■日本学生支援機構 奨学金

経済的理由で修学が困難な優れた学生に学資の貸与を行い、また、経済・社会情勢等を踏まえ、学生等が安心して学べるよう、「貸与」または「給付」する制度です。

【独立行政法人日本学生支援機構】

<http://www.jasso.go.jp/shogakukin/index.html>



■高知県保育士修学資金貸付

この制度は指定保育士養成施設に在学し、保育の資格取得を目指す学生に対し就学資金を貸付け、もってこれらの者の修学を容易にすることにより、質の高い保育士の養成確保に資することを目的とする制度です。

【社会福祉法人高知県社会福祉協議会】

<http://www.kochiken-shakyo.or.jp/>



■高知県歯科衛生士養成奨学金制度

この奨学金は、卒業後、高知県内の指定医療機関で、歯科衛生士の業務に従事する意思のある者に対し、奨学金を貸し付けてその修学を支援し、高知県の歯科衛生士の確保充実を回することを目的とするものです。奨学金の貸与を受けた期間の1.5倍の期間、県内の指定医療機関において歯科衛生士として業務に従事することで、奨学金の償還が免除されます。

【高知県健康政策部 保健政策課】

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/131601/2018031600036.html>



■高知県看護師等養成奨学金制度

この奨学金は、卒業後、高知県内の指定医療機関等又は訪問看護ステーションで、看護師・准看護師の業務に従事する意思のある者に対し、奨学金を貸し付けてその修学を支援し、高知県の看護師等の確保充実を回することを目的とするものです。奨学金の貸与を受けた期間の1.5倍の期間、県内の指定医療機関または訪問看護ステーションにおいて看護師、准看護師として業務に従事することで、奨学金の償還が免除されます。

【高知県健康政策部 医療政策課】

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/131301/kango-syougakukinn.html>



●就職支援

本学の学生は、広い教養と社会性を身につけると共に、専門的な知識・技能や取得した資格を活用し、就職活動に挑んでいます。大学生の就職が嬉しい中でも、本学学生の持つ優位性により全ての学科で就職希望者全員が就職を果たしています。

●同窓会会長表彰、同窓会表彰

在学中に、文化・スポーツ及び社会活動において特に功績のあった学生に対し、本学同窓会が表彰します。その中でも特に顕著な功績があった学生は、同窓会会長表彰として表彰します。



大学、医療機関との連携

北京大学口腔医学院との連携

北京大学口腔医学院と教育及び学術研究の分野における協力関係を推進するため、学術交流協定書調印式が執り行われ、グローバルな視点で学術交流がスタートしています。



高知医療センターと高知学園短期大学及び高知リハビリテーション学院との包括的連携

教育・学術研究推進のために、高知医療センターと本学並びに高知リハビリテーション学院の包括的連携調印式が行われました。



一般社団法人高知県歯科医師会・国立大学法人高知大学・国立大学法人徳島大学高知県と本学との歯科保健医療対策に関する協定

一般社団法人高知県歯科医師会と本学との災害時の歯科医療救護に関する協定

高知県臨床検査技師会との包括連携の調印式



人材育成と社会貢献を軸に、高知県臨床検査技師会と本学との包括連携に関する協定書に調印式が行われました。

YAMAKIN株式会社との包括連携の調印式



臨床検査をのぞいてみよう

平成26年から3年間、独立行政法人国立青少年教育振興機構「子どもゆめ基金助成活動」に採択され、次世代を担う臨床検査技師育成のために、高校生を対象に体験実習「臨床検査をのぞいてみよう!」を開催しました。平成29年からは、本学主催の体験イベントとして継続して年に数回開催し、多方面で活躍する臨床検査技師の紹介をしています。



歯っぴいスマイルフェア



高知市歯科医師会主催のイベント「歯っぴいスマイルフェア」に本学の学生と教員が歯からはじまる健康づくりに本学の専門性を活かし共催しています。



子育て応援団すこやか

毎年開催されている「子育て応援団すこやか」では絵本の読み聞かせや、手遊びなどのボランティア活動を続けています。



健康教育演習 I・II

歯科衛生学科が歯科保健活動としてスタートした「健康教育」は、現在全学科で取り組まれています。



イキイキ健康フェア

平成27年から地元の旭地区を中心に65歳以上の方々を対象にして、健康に関する「イキイキ健康フェア」を開催しています。近隣地域の方々や学生達の笑顔があふれる楽しいイベントで、本学の活動の一端も紹介し、ふれあいを深めています。

キャンパス Campus

知と学の拠点

閑静な住宅地が広がる高知市北西部に位置し、昔から文教の地としても知られ、勉学に適した環境には高知学園グループの高知幼稚園、高知小学校、高知中学校、高知高校も併設されています。



高知学園大学および高知学園短期大学は一年を通じてさまざまなイベントを開催します。四季を通じたイベントで気の合う仲間との絆を深め、学生時代をエンジョイしましょう！

Campus Life

- 主なスケジュール
- 入学式
 - 健康診断
 - オリエンテーション
 - 就職ガイダンス
 - 各種検定
 - 就職個別面談
 - 就職活動指導講座
 - オープンキャンパス
 - 実習
 - 前期定期試験
 - 会社説明会
 - 学園祭
 - 後期定期試験
 - 学園記念日
 - 卒業証書・学位授与式



アクセス Access

豊かな自然が広がり、おいしい海・山・川の幸にも恵まれた高知。コンパクトシティならではの利便性が備わっています。

KOCHI



- 高知自動車道「伊野IC」より車で約15分
- JR土讃線「旭駅」より約0.7km
- とさでん交通「旭駅前通電停」より約1km
- 高知龍馬空港から「はりまや橋」、「高知駅」まで空港連絡バスで約30分



学生女子寮

自宅から通学できない方や県外から入学される方のために女子学生専用の寮を完備しています。



学校法人高知学園グループ

附属幼稚園から小学校、中学校、高校、大学へつながる一貫教育。早い段階から基本的な学習や大学と連携した学びを実践しています。